

輝 SONODA SPORTS PRESS

経験値教育。

園田学園女子大学

園田学園女子大学短期大学部
〒661-8520 兵庫県尼崎市南塚口町7-29-1

[学部・学科]
●人間健康学部/総合健康学科 ●人間教育学部/児童教育学科
●人間看護学部/人間看護学科 ●短期大学部/生活文化学科
●食物栄養学科 ●幼児教育学科

お問い合わせ先 スポーツ振興センター

TEL 06-6429-9137
FAX 06-6429-9116
URL http://www.sonoda-u.ac.jp/sports/index.html



強打堅守で連戦完封

ソフトボール部が栄光を取り戻した。全日本大学女子選手権(インカレ)/2016年8月26-29日)決勝で日本体育大に1-0で競り勝ち、4年ぶり7度目の全国制覇を達成。西日本大学選手権(2016年8月6-8日)と秋季関西学生リーグも優勝し、前回インカレ8強の悔しさを無敵の快進撃で吹き飛ばした。

ソフトボール

大学タイトル独占

インカレ4年ぶり 西日本2年ぶり 関西リーグ13季連続

勝因は「園田愛」

昨季の園田女大は主将の田井亜加音(総合健康学科4年)を中心に戦力充実の好チーム。西日本制覇の勢いでインカレに挑み、1回戦を10-0で大勝した。準々決勝は7回まで0行進。7回ウラの攻撃で、1死2塁から屋瀬未奈(同2年)が値千金の中前打を放ち、



インカレ優勝に貢献した原

サヨナラ勝利を収めた。準決勝は6回に富本凜子(同4年)の本塁打などで一挙7得点。決勝は原奈々(児童教育学科3年)・椛山奈々(総合健康学科2年)バッテリー中心の堅守で守り勝ち、「チーム愛・園田愛が強いチーム」(木田京子監督)が栄冠に輝いた。

秋季リーグも無失点全勝。優勝を「13季連続43度目」に伸ばした。2017世界女子ジュニア選手権で戦う女子U19選手団に選出された服部洋代(同1年)など新戦力も育つ。新チームを引っ張る原は「インカレ2連覇にチャレンジします」と宣言。応

大会成績

- ◆西日本大学女子選手権
 - ▷2回戦 ○3-0 ●中京大
 - ▷準々決勝 ○1-0 ●環太平洋大
 - ▷準決勝 ○2-0 ●日本文理大
 - ▷決勝 ○4-0 ●東海学園大

- ◆全日本大学女子選手権
 - ▷1回戦 ○10-0 ●宮城教育大
 - ▷2回戦 ○2-0 ●環太平洋大
 - ▷3回戦 ○4-0 ●東京富士大学
 - ▷準々決勝 ○1-0 ●東京女子体大
 - ▷準決勝 ○7-0 ●東海学園大
 - ▷決勝 ○1-0 ●日本体育大

◆平成28年度秋季関西学生リーグ戦(予選リーグ)

- 園田女大 ○7-0 ●武庫川女大
- 6-0 ●大阪青山大
- 4-0 ●龍谷大
- 5-0 ●神戸親和女大

(2次1部リーグ)

- 園田女大 ○2-0 ●奈良学園・奈良文化女短大
- 3-0 ●大阪大谷大
- 6-0 ●同志社大
- 8-0 ●立命館大

- (個人賞)
 - 最優秀打撃賞 打率0.555 田井亜加音
 - 最優秀投手賞 防御率0.00 原田悠
 - 盗塁賞(3本)・ベストプレー賞 堤加菜子



木田監督がインカレ制覇をたたえる

援を力に、勝利にこだわるチームづくりが始まっている。



インカレ4強の加治

テニス部は加治遥(総合健康学科4年)の実力が光った。全日本大学選手権で準決勝までストレートで勝ち上がり、4強進出。全日本学生室内選手権では、決勝第1セットを0-6で失ったからの逆転劇でシングル2連覇を達成した。チーム一丸で戦った関西大学対抗リーグ戦(1部)は3連勝の後、連敗を喫し、全日本大学対抗王座決定試合の進出を逃した。加治は「学科で身体動作や栄養などを専門的に学ん



桐畑(左)・渡邊組

だことで知識が増え、テニスに対して幅広い考えができるようになり、「4年間の成長を振り返る。」「加治先輩は、どんな状況でもチャレンジする姿勢がどれだけ大切かを全員に焼き付けてくれました」と話すのは新主将の木村優布子(同3年)。新チームは「声に出して伝える」「無意識の行為を意識化することに取り組み、大学王座の頂点にチャレンジする。



1部昇格めざし、新チームが始動

バスケットボール部

秋季リーグ2部 秋季トーナメント 3位

1部昇格を目指して関西女子学生秋季リーグに挑んだ園田女大。1次リーグは初戦から4連勝と好調で、2次リーグを迎えた。その第2戦で関西大に痛恨の逆転負け。最終戦は競り勝ったが2部3位。入れ替え戦に進出できなかった。個人賞では、前田実咲(児童教育学科4年)が2部優秀選手と得点王&3ポイント王を受賞した。

新チームで臨んだ関西女子学生秋季トーナメントは準決勝で追い上げ届かず敗退。3位決定戦は1点差で粘り勝ち、前年に続いて3位となった。新主将の東美緒(総合健康学科3年)は「試合中に悪くなった流れを断ち切り、いかに自分たちのペースに巻き込むか」と強化課題を挙げていた。

大会成績

- ◆平成28年度
関西女子学生リーグ戦(2部)
1次リーグ Bブロック
園田女大 ○83-50 ●大阪大谷大
- 73-51 ●京都産業大
- 66-53 ●龍谷大
- 66-45 ●大阪教育大
- 45-69 ●神戸親和女大
- (2次リーグ 上位)
園田女大 ○55-41 ●同志社女大
- 62-66 ●関西大
- 64-61 ●京都学園大
- ◆平成28年度
(6勝2敗 勝点14 2部第3位)
関西女子学生秋季トーナメント
- ▽3回戦 ○77-23 ●神戸大
- ▽準々決勝 ○66-60 ●びわろ大
- ▽準決勝 ●54-67 ●流通科学大
- ▽3位決定戦 ○54-53 ●京都産業大

粘り発揮も昇格ならず 秋季リーグ2部4位



昨年春季の関西大学リーグを1部で戦ったバレーボール部は秋季2部で戦い、3勝4敗で4位。1部返り咲きに新年度春季リーグで再挑戦する。

秋季リーグの初戦、第2戦は鳴林梨那（総合健康学科2年）や大角維（同2年）らが得点源となつて連勝した。第3戦、第6戦は押されては押し返す

粘りのバレーを発揮したが、あと一歩でセットを奪えなかった。それでも、1年生の平田早希（食物栄養学科）が2部新人賞を受賞するなど、印象的なプレーを随所に見せていた。

新チームの目標を新主将の上村あすか（総合健康学科3年）は「規律正しく誰からも応援されるチームになり、絶対1部昇格」と掲げる。冬期練習の成果を春季リーグの戦いにぶつける。

大会成績

- ◆関西大学秋季リーグ(2部)
 - 園田女大 ○3-0 佛教大
 - 3-0 同志社大
 - 0-3 流通科学大
 - 3-1 大阪女短大
 - 0-3 天理大
 - 0-3 大阪女大
 - 0-3 京都産業大
- ◆関西インカレ
 - ▽2回戦 シード
 - ▽2回戦 ○2-0 流通科学大
 - ▽3回戦 ○0-2 龍谷大

剣道部 関西優勝大会 5年連続 8強



剣道部が昨年9月25日に行われた関西女子学生優勝大会で8強に進出し、全日本女子学生優勝大会の出場権を獲得。全日本では3回戦まで駒を進めた。

関西優勝大会は2回戦、3回戦を無傷で勝ち上がった。

が、準々決勝で惜敗。5年連続して8強突破を阻まれた。

その悔しさをぶつけた同年10月の全日本優勝大会も2戦連続で快勝。前年のチームの8強を越えようと勢いに乗ったが、同大会を制することに成功し、明治大との3回戦で、橋田紗季（児童教育学科2年）が一矢報いるも敗退を喫した。

新主将の吉山茜（総合健康学科3年）は「昨年は上回れなかったのは、それが今の実力だから。現段階で実技面では上回れていませんが、やる気は十分あるので、お互いが仲間であり、ライバルであるという気持ちで向上していきたい」と誓う。まずは個々の強化が必

大会成績

- ◆関西女子学生優勝大会
 - ▽2回戦 ○4-0 摂南大
 - ▽3回戦 ○5-0 関西外大
 - ▽準々決勝 ○0-2 四条短大
 - (武末、関、栗林、平岡、橋田、岩崎、落合)
- ◆全日本女子学生優勝大会
 - ▽1回戦 ○3-0 仙台大
 - ▽2回戦 ○3-0 花園大
 - ▽3回戦 ○1-4 明治大
 - (武末、栗林、橋田、岩崎、落合、橋田真、大辻)

大会成績

- ◆全日本大学選手権
 - ▽1回戦 ○8-2 千葉商大
 - ▽2回戦 ○1-2 大体大
- ◆関西地区大学秋季リーグ
 - 園田女大 ○0-9 武庫川女大
 - 2-4 大体大
 - 11-0 大阪芸大
 - 2-6 武庫川女大
 - 3-1 大体大
 - 14-2 大阪芸大

陸上 棒高跳5位・那須らインカレ入賞6 来季につながる1-3年生の活躍



女子棒高跳で日本選手権8位の那須。新年度は4m00とインカレVがターゲット

陸上の第85回日本学生対校選手権（1016年9月）で園田勢は、日本選手権棒高跳8位の那須真由（総合健康学科2年）が5位に入るなど6種目で入賞した。

安定して全国上位の成績を残す那須の自己記録は3m90。冬に鍛えて、来季は4m00の高みを目指す。

砲丸投8位の内田千香子（同3年）も2年連続インカレ入賞を達成。リレーでも貢献する100m障害の中島ひとみ（児童教育学科）も勝りました。2回戦は大体大戦。1回に先制するも逆転で惜敗。一昨年の4強以上を狙っていたので残念です。秋季リーグではその大団体に勝利。来季につながる自信になりました。

3年）は個人種目でインカレ初入賞となった。

走高跳の中村瑠菜（総合健康学科3年）と三段跳の宮畑さくら（同3年）がともに5位入賞したこともうれしいトピックスだった。ともに昨季自己記録を更新した成長株。高校時代に全

- ### 主要大会上位成績
- ◆日本学生個人選手権
 - ▽100m障害 ○中島13秒81▽棒高跳 ○那須3m70▽走幅跳 ○浦山5m94(追い風参考)
 - ◆日本選手権
 - ▽棒高跳 ○那須3m80
 - ◆西日本学生対校選手権
 - ▽400m ○堀出56秒76○福岡57秒35▽800m ○メドラン・ミツエ2分21秒17▽1000m ○園田女大14秒03▽1600m ○リレー ○園田女大(近藤・中島)堀出
 - 1回戦 ○3分46秒97▽走高跳 ○中村1m69▽棒高跳 ○那須3m80▽走幅跳 ○浦山5m86▽大浦5m76▽三段跳 ○田澤12m40(追い風参考)○宮畑12m29(同)▽砲丸投 ○内田13m94
 - ◆日本学生対校選手権
 - ▽100m障害 ○中島13秒87▽1600m ○リレー ○園田女大(堀出・中島・川原・福岡)3分44秒25▽走高跳 ○中村1m70▽棒高跳 ○那須3m70▽三段跳 ○宮畑12m58▽砲丸投 ○内田13m55
 - ◆関西学生新人選手権(3位以上)
 - ▽400m ○福岡56秒53▽1500m ○佐藤4分53秒42▽走高跳 ○中島1m65▽棒高跳 ○那須3m71▽大会新 ○竹上3m40▽走幅跳 ○大浦5m87(追い風参考)
 - ◆関西学生種目別選手権(3位以上)
 - ▽200m ○大橋25秒17▽400m ○福岡56秒14▽3000m ○障害 ○佐藤11分50秒93▽1600m ○リレー ○園田女大(メドラン・安達・近藤・小澤)3分53秒91▽棒高跳 ○那須3m80▽竹上3m40▽三段跳 ○宮畑12m33

ラクロス部

初心忘れず昇格めざす

今年のスローガンは「初志貫徹(挑戦者)」です。初志貫徹は3回生が1回生のときのスローガンでもあります。1回生の頃の初心を忘れず、常に何事も挑戦していける年にするという思いが込められています。人数が少ない分、一致団結し、「一部昇格」を目指して、とことん頑張ります。

チアリーディング



笑顔をお届けます

チアリーディング部は、昨年8月に創部10周年記念公演会を開催し、日頃からお世話になっている方々に感謝の気持ちを伝えることができました。12月の全日本学生選手権大会ではエキシビジョン部門で奨励賞を受賞しました。今年も多くの方に笑顔をお届けできるよう頑張りたいと思います。

学部・学科・コース	学科・コースの概要	
人間健康学部	総合健康学科 養護コース	スポーツの視点から「保健室の先生」に必要な力の修得をめざします。
	健康スポーツコース	"スポーツのSONODA"でスポーツを通じた健康サポートを学び、指導力のある保健体育教諭をめざします。
	人間看護学科	看護師に必要な心・技術・知識を磨き、命を支える力の修得をめざします。
	食物栄養学科	栄養を学び、食から健康とスポーツをマネジメントする力の修得をめざします。
人間教育学部	児童教育学科 幼保教育コース	時代のニーズに応じる質の高い保育者をめざします。
	児童教育コース	幼稚園教諭・小学校教諭の免許取得を中心に学び、信頼される先生をめざします。
短期大学部	生活文化学科 製菓クリエイトコース	一流のパティシエによる直接指導で第一線で活躍する製菓の専門家をめざします。
	生活キャリアコース	ビジネススキルを身につけた社会の即戦力となる人材をめざします。
	幼児教育学科	豊富な現場実習と多彩な学びで現場が求める幼稚園教諭・保育士をめざします。

「どんなにきつい練習もみんな元気に声を掛け合い、乗り越えてきました。練習を信じてチャレンジし続け、400mハードルでインカレ入賞を果たせました。これからは医療現場で人を支え、治療を通してアスリートサポートができる看護師を目指します」

「園田は勉強とスポーツを両立しやすい環境が整っていて、競技に打ち込むことができました。身体動作や健康、栄養を専門的に学び、それらをテニスにつなげる力は成長したと思います。今年は無二バード競走大会の日本代表になり、メダル獲得が目標です」

「一部活動や学部の学びなどたくさんを経験させてもらい、失敗も成功もあつて次のステップに進めました。ソフトボール部で得たことは本当に大切にしていきたい。ともに過ごした同級生と進む場所はバラバラでも、それぞれが活躍できるようにと思っています」

Special Message

園田アスリートの
旅立ちの春

田井 亜加音さん
ソフトボール部
総合健康学科
東海学園高等学校出身
株式会社豊田自動織機就職